

18回架け橋会ゴルフコンペ

2015年5月23日(土) ITC中部広報委員会主催の第18回架け橋会ゴルフコンペが、正眼寺カントリークラブで開催されました。当日は、春の風が気持ちいいラウンドのしやすい絶好の日となりました。常連の方々を中心に参加者9名で、楽しくプレーすることができました。

架け橋会ゴルフコンペは、毎回ダブルペリア方式で実施していますので、あがってみたいとわからないという楽しみがあります。ベスグロは、矢口さんで86、優勝は、グロス103/ネット75.4で、江坂さんでした。全体の平均スコアは、グロス103.1/ネット77.9という結果で、皆さん、横幅の狭く、距離間のコントロールが要求される戦略性の高いコースに手こずっておられたようで、前回より平均グロスのスコアが落ち込みましたが、ハンデに救われた方が多く、平均ネットは良いという結果となりました。

賞品は今回も参加者全員から持ち寄ってもらった品物を成績上位者から順に好きなものを選んで頂きました。賞品には、地方や国内外のお酒がたくさん持ち込まれ、皆さんには大変満足して頂くことができました。今後も参加者全員による賞品の持ち寄りを続けていきたいと思います。

今回のラウンドで知りましたが、プレー前後にアミノ酸粉末を飲むと、筋肉痛が緩和され、プレー後を快適に過ごすことができます。高

価なものでもなくても効き目はあり、お小遣いに余裕のある方はぜひお試しください。

架け橋会ゴルフコンペは、ゴルフを通じてITC中部の親睦を図る目的で開催しており、スコアに拘らず、和やかな雰囲気の中で楽しくプレーしています。次回は9月頃の平日を予定していますので、是非多くの方のご参加をお待ちしております。

(ITC中部 近藤 慈伸)



第18回架け橋会ゴルフコンペ (正眼寺カントリークラブ)

平成27年度総会・講演会

平成27年度総会・講演会が、5月30日(土)に名古屋市中小企業振興会館会議室にて約80名の参加により開催されました。

今年度総会では、以下の5議案についての説明及び質疑が行われ可決されました。

- ・第一号議案 平成26年度活動報告
- ・第二号議案 平成26年度決算報告
- ・第三号議案 平成27年度活動計画
- ・第四号議案 平成27年度予算案
- ・第五号議案 平成27年度役員紹介

議案議決後、新理事長の挨拶と各委員会からの平成26年度活動実績並びに今年度活動方針についての説明がありました。

総会終了後の講演会では、中部経済産業局 情報政策室長の林様とITコーディネータ協会事業部長 松下様から基調講演を行って頂き、特別講演として 産業技術大学院大学 教授 戸沢義夫様から講演を行って頂きました。

林室長様の講演では、データ駆動型社会への動きや攻めのIT経営と非常に興味深い話との中で東海地域がTOKAI VISIONという協議会を通して活性化していくかの話となりました。

ITコーディネータ協会からは、今年度施策としてITCビジネスの拡大、運営基盤の確立、ITCAの意識と行動変革等についての説明を頂きました。

最後に、戸沢教授様からは、ITIL、PMBOK、BABOK等知識体系やサービス体系について最新動向や各々の関連性について非常に判りやすく講演を頂きました。

(ITC中部 BizUp委員会 東條)



平成27年度総会・講演会風景

事務局だより

秋の候、いかがお過ごしでしょうか?私は、所属する会社が9月決算の為、バタバタしながら最後の追い込みをしています。本当に毎年、変わらない風景です。来月(10月)から皆様のもとに12桁のマイナンバー(個人番号)が通知されますが、皆様のお仕事に影響はありましたか?昨年の末ごろからマイナンバーでIT業界は特需になるといわれており、マイナンバーを正確に効率的そして安全に取得するためのサービス。アクセス制御や暗号化技術を用いてマイナンバーを安全に管理する製品。サイバー攻撃によるマイナンバーの窃取を監視・遮断するセキュリティ製品。などのさまざまなマイナンバーソリューションがITベンダーから発表されました。私の自社では、4月に入社してきた新入社員が、上記のソリューションで新規営業を続け、先日

無事に初受注をあげることができました。無邪気に喜ぶ新人君をみて久しぶりにうれしかったです。

さて、今年度も2015年10月30日(金)～31日(土)の2日間でITC Conference 2015 (IT Coordinators Conference 2015)が住友不動産新宿グランドタワー 1F ベルサール新宿グランドで開催されます。今年のテーマは「IoT新時代におけるITコーディネータのエボリューション〜クラウド・Industrie4.0の可能性〜」といった盛大なものになってます。懇親会も含めいつも刺激の多いイベントですので、皆様もぜひ参加をお願いします。

私も参加予定です。いっしょにエボリューションしましょう。(ITC中部事務局 山本 憲司)

NPO・ITC中部広報誌第25号 平成27年9月30日 発行

発行：NPO・ITC中部広報委員会 (〒460-0022 名古屋市中区金山5丁目11-6 (NSC内))

発行責任者：NPO・ITC中部 理事長 磯部 秀敏 編集責任者：NPO・ITC中部 広報委員長 吉田 信人
ホームページ (http://www.itc-chubu.jp/)

NPO・ITC中部 広報誌

Vol.25

架け橋

非特定営利活動法人

ITC中部

http://www.itc-chubu.jp/

他地域ITC組織紹介



目次

新理事長挨拶 ①

ITC鹿児島のご紹介 ②

ITC北海道の活動 ②

ITC広島のご紹介 ③

18回架け橋会
ゴルフコンペ ④

平成27年度
総会・講演会 ④

事務局だより ④

新理事長挨拶

このたび、ITC中部の理事長に就任しました磯部秀敏です。微力ながら、ITC中部を一層発展させるべく努力していく所存です。よろしくお願い致します。

会員の皆様は、ITCという資格に対し、これを活かした仕事の獲得、人脈の拡大等いろいろな期待をされていると思います。そういった思いに少しでも寄与できるように、ITC中部の活動を以下の方針で展開したいと考えております。

ITC中部の活動方針

1) ITCのブランド力UP

ITCという資格そのものの認知度・信頼度(ブランド力)を向上させていかなければなりません。これまで同様、経済産業省やITC協会と連携し、ブランド力向上を図ります。

2) 事業展開の研究と準備

ITC中部が今後共に継続して活動を続けていくためには、現行の会員による年会費だけでは限界があり、事業収入が必要となってきます。そこで、3年前から、2つの事業委員会を設置し、研究と準備を進めてまいりましたが、進捗は芳しくありません。そこで今年度は、うまくいっていない原因を追究し、可能な進め方を模索していきたいと考えております。

3) 研修の絞り込みと内容の充実

ITC中部では、3年前から、研修カリキュラムの多様化を図ってきました。しかし、その後、知識ポイント取得の条件が緩和され、ポイントが取得しやすくなりました。その結果、出席が必要な時間数が減少し、ITC中部が主催する研修への参加率が減少しました。そこで、今後は数を減らしても魅力ある研修を企画する方針にシフトしていきたいと考えています。

4) 組織内外の交流会拡充

ITC中部の広報を兼ね、ITC中部内、全国のITC組織・中小企業の皆様等との交流の場を作ってきました。この活動は今後も継続していきたいと思っております。

5) 楽しさのチャンス創出

非営利の委員会活動を持続可能にするためには、楽しさも重要です。各委員会には1つ以上の楽しい企画をお願いしています。

ITC中部のイベントに参加してください!

ビッグデータ、IoT、AI、ロボット等IT活用の幅が大きく広がる時代、米国と異なり、日

本の一般企業は、IT技術者を社内に抱えていませ



磯部秀敏 理事長

ん。ですから、当該企業の戦略と文化に合致した情報システムを構築するためには、経営とIT両方をわかった識者が、適切に導く必要があります。その役割を担うのがITCです。しかし、ITCが自己研磨を怠り、新しい技術動向について行けなければ、その役割は果たせません。従って、各ITCが自らを磨き、尊敬されるように高めていかなければなりません。ITC中部には、ITCが自らを高め、ポイントを取得できるイベントや、他のITC・中小企業の方々・中小企業を支援する政府系の方々とお出合場があります。そういう機会をもっと活用してください。

皆さん委員会へ入りましょう!

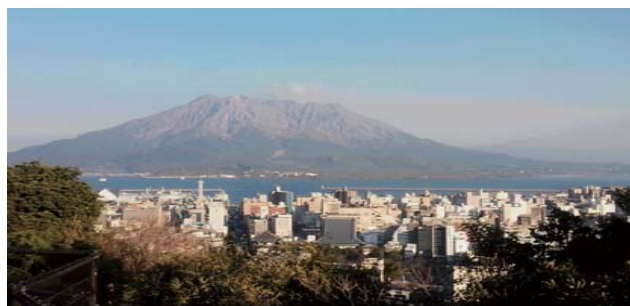
ITC中部での活動の中心は、委員会です。3年前から、広報委員会、ブランドデザイン委員会、ビジネススキルアップ委員会、マッチング事業委員会、公共事業委員会(休眠中)の5員会+事務局の体制となっております。

委員会での活動を通じてスキルや見識を高めることができると同時に、広い人脈を獲得できます。それらは、皆さんの仕事や人生にとって、大きなプラスになると思います。ぜひ、会員の皆様にはどこかの委員会に入ってください、ITC中部の活動を共に支えていただきたいと思います。業務都合で毎回出席出来ない方もおられるかと思いますが、各委員会ではそういったことも考慮した運営を行っております。皆さんの可能な範囲で、まず気軽に参加してみてください。委員会参加の具体的方法については、ITC中部のホームページを参照してください。

(ITC中部 磯部秀敏)

ITC鹿児島のご紹介

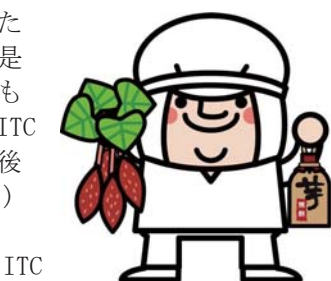
ITC 中部の皆さん、久(き)しかぶいです。ITC 鹿児島(かごしま)でごわす。こん度(たび)は、ITC 中部機関紙「架け橋 Vol 2 5号」の発刊を迎(むけ)められ、長きにわたって継続されておりますこと改めて敬意を表します。また、今回「架け橋 Vol 2 5号」では、他地域の ITC 組織活動(くわっど)紹介として、ITC 鹿児島にもお声掛けいただきまして、誠にあいごとごわす。南国かごしまより ITC 鹿児島の組織についてご紹介させていただきます。ITC 鹿児島は、山下博美会長の元 4 8名の会員で活動をしており、AKB ぐっあらいなあ。平成 1 6年に設立した旧 ITC 鹿児島と山下会長、ITClabo 川端先生(せんせ)の教え子じやい旧さつま ITC クラブを統合して、現在の ITC 鹿児島となっております。来年(でねん)1 0歳を迎(むか)ゆい ITC 届出組織になっております。ITC 鹿児島は、企業内 ITC の在籍が多(う)お、鹿児島のお客様(きゃっさあ)を中心に実務の中で ITC 活動を行ってしております。基本的には、会員主導による月 1 回程度の自主勉強会と年 2 回開催する ITC 鹿児島主催知識セミナーを行っておっど。自主勉強会では、ITC 鹿児島会員自ら講師となるケースと外部講師を呼んで様々な内容で実施しております。年間の予定(よて)を立てっ、各グループで講師担当を割り振り、それぞれ(そいぞい)の経験や得意分野に関して、他(ほか)ん会員への知識習得を深めちよっど。ITC 鹿児島主催セミナーは、概ね 1 0月と 2 月に開催しっせい、近隣(ちかばっ)では宮崎、熊本、福岡の ITC の方(かた)いもご参加いただいてもろちよっど。例えば、「農協の抱える経営課題と取り組み」として JA 鹿児島中央会専務様が講演をくいやったり、鹿児島の特徴じやい離島のネットワーク強化を目指した「奄美におけるブロードバンドの取り組み」、「ITC の現況と展望、及び関西の活動状況」、「四国における ITC 活動の事例」った、他地区における ITC 活動事例なども取り上げております。上記活動を通して、鹿児島の ITC 会員との交流を深めるとともに、企業系 ITC としての地域貢献を目指しちよっど。



城山から見る鹿児島市街と桜島

正直(しよちっ)、当初の目的は、ITC 資格維持のポイントをどげんして獲得するか?ちゅう感覚で始(はい)めた活動ではあいますが、ITC 鹿児島会員同士の繋がり場にもなっております。企業系 ITC がわっぜかすんばいおっで、各種セミナー受講には地の利が悪(わ)り ITC 鹿児島では必要不可欠じゃっど。6 年前に合同で開催させていただきました勉強会では、ITC 鹿児島メンバの懇親会出席者が少(すっ)ので申し訳ござんさん。会長、事務局は焼酎(しよちゅ)が大好きじゃっで、是非(さいも)ITC 鹿児島主催セミナーの講師を兼ねてお越しただっ機会をお願いしたいと思(おも)ております。これ(い)から、夏場に向けて火山灰の厳(いみ)し時期にないもすが、秋には作(つく)いっただの焼酎もできてきもす。是非、かごしまへおじゃったもんせ!最後(おわい)に、ITC 中部様におかれましては今後益々のご発展をお祈(いの)いしちよっでな。

以上、鹿児島弁を用いて ITC 鹿児島を紹介いたしました。お分かりになりましたでしょうか(笑)?実際のイントネーション・アクセントは、是非かごしま(鹿児島)で!!!



焼酎天国!かごんま

(ITC 鹿児島 清水 康明)

ITC北海道の活動

北海道 ITC コーディネータ協議会(以下、ITC 北海道と呼ぶ)会長の阿部と申します。当協議会は過去に ITC 中部様と交流した経緯がございます。そのご縁でこの度、北海道における我々の活動をご紹介致します。ITC 北海道は平成 1 3 年に発足され現在、会員 1 1 2 名、北海道のほとんどの ITC が加入している北海道最大の届け出組織です。支部も函館、帯広、釧路と徐々に増えてまいりました。ITC 北海道は勉強会目的の組織で会員向けのセミナー、情報提供、交流等を日常的に行っていますが、その他北海道における IT 経営の普及推進の為の啓蒙活動を重点的に進めています。以下、ここ最近の当協議会の代表的な活動です。

■道内主要都市における ITC 経営カンファレンスの開催
北海道では ITC 経営の普及推進活動の一環として ITC コーディネータ協議会の事業と連携して ITC 経営カンファレンスを毎年開催しています。一昨年は帯広、前年度は釧路で開催し

ました。広大な北海道では地域ごとに抱えている課題が異なります。それを踏まえて、帯広では「農業」、釧路では「観光」をテーマとし、関係者の皆さまのおかげで、それぞれ 9 0 名ほど参加という大盛況で終えることができました

ITC 経営カンファレンスでは行政機関、金融機関、支援機関、大学、地元の企業に参加頂き、ITC 経営の価値を理解し ITC コーディネータについて知ってもらい、懇親会でよりコミュニケーションを深めることで、何かあった際に気軽に相談頂ける環境を整えて



ITC北海道 阿部裕樹氏

いきます。それは準備期間から始まり、地域の ITC コーディネータが顔を売るためには絶好のチャンスと言えるでしょう。まだ、未確定ですが、本年度はできれば新幹線開業を控えた函館で開催できればと計画しているところです。

■札幌市の IT 利活用促進費補助事業への協力
札幌市では市内の企業が ITC 投資を行う場合、その費用の 1/2 を上限 2 0 0 万円で補助するという事業を 3 年前から行っております。昨年度から、この補助申請にあたり、ITC 北海道の会員である ITC コーディネータが無料で 3 回、専門家派遣で支援するというスキームが始まりました。ITC コーディネータが関わってからの、申請書のクオリティが明らかに上がっているということで大変評価頂いています。具体的には、課題を解決する為の ITC 投資を戦略的に導入するという ITC 経営の実践を指導しています。申請の前提として市内のベンダー企業とのマッチング並びに、RFP の作成などを行い、非常に ITC コーディネータらしい活動と言っているところ

う。IT 導入に成功し、札幌市のユーザー企業、ベンダー企業の両者の業績が好転していけば本事業の価値は益々高まっていくものと期待しており、その為、ITC コーディネータが大変、重要な存在となっております。この影響もあり、新たに ITC コーディネータを目指す方が年々増加してきています。本年度、第 1 期ケース研修は 1 2 名満席、全国で一番早く募集を締め切りました。今後は各地域への ITC 経営の普及推進活動の幅をより広げていけるよう、道北エリアへも活動を広げて行きたいと考えています。



ITC経営カンファレンスin釧路

(ITC 北海道 会長 阿部 裕樹)

ITC広島のご紹介

特定非営利活動法人 ITC コーディネータ広島
(http://itc-hiroshima.net) 理事長 志多木義浩

1. 組織
広島県内外の ITC 有志数名が立ち上げた勉強会のメンバーが中心となり、2004 年 5 月に設立された組織(現在:理事 7 名、会員 22 名)会員は独立してコンサルタント事業をする人が主流となっている。

2. 活動状況
2-1. 経営革新支援機関(認定支援機関)としての活動
広島県の NPO 法人としては唯一経営革新支援機関として平成 24 年に認定を受け、以降中小企業庁のミラサボ事業において事業者へ会員の ITC を専門家として派遣をおこなっている。ミラサボは専門家にとっては謝金の面では厳しいものの、事業者と ITC との接点構築できるツールとして会員の ITC に提供できていると考えている。また、昨年は創業スクールを会員の ITC を講師に「広島地域 IT 利活用型創業スクール」と題して創業検討者および第二創業事業者向けに実施した。

2-2. プライバシーマーク取得・更新コンサル事業活動
会員の ITC の内 5 名がプライバシーマーク審査員資格を保有している強みを活かして、プライバシーマークの取得や更新をする際のコンサルティング事業を事業者向けにパッケージとして有償提供している。規程や様式類の提供に留まらず、個人情報リスク分析や対策(安全管理措置を含む)を事業者と共に構築するコンサルティング活動である。また、事業者からコンサルティングを NPO として受注する為、各フェーズ別の分担や得意分野別に会員 ITC を割り当てることにより、事業者に対してリーズナブルな費用とコンサルティング品質を提供できている。

2-3. マイナンバー制度対応コンサル事業活動
来年 1 月からの制度開始に合わせて、プライバシーマーク取得・更新支援コンサルティングのノウハウを元に事業者に対するマイナンバー法のガイドラインが求める対応を規程や様式類の提供だけでなく委託先の監督や従業員教育を今後提供していく予定である。

2-4. 金融機関との連携活動について
組織立ち上げ当初から地元有力地銀である広島銀行と連携し、広島銀行の顧客の事業者に対して会員 ITC を派遣して頂

いている。最近では更に日本政策金融公庫と連携し、事業者の IT 投資に対して有利な条件で設備資金を貸与して頂く等、コンサルティングの中を広くすることができている。



ITC広島 志多木理事長

2-5. ITC 組織としての活動
昨年からケース研修およびフォローアップ研修を開始し、新規会員の獲得活動をおこなっている。地方組織での研修の為に研修参加者は少ないが、ビデオライブ配信を使って他の地区との研修会場と結びつけた活気のある研修をおこなっている。また、会員 ITC からの要求に基づいて知識ポイントセミナーを随時開催している。

(ITC 広島 矢村弘道)



セミナー風景(2014年9月6日)



ベーシックコース(2014年9月20日)